

イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。



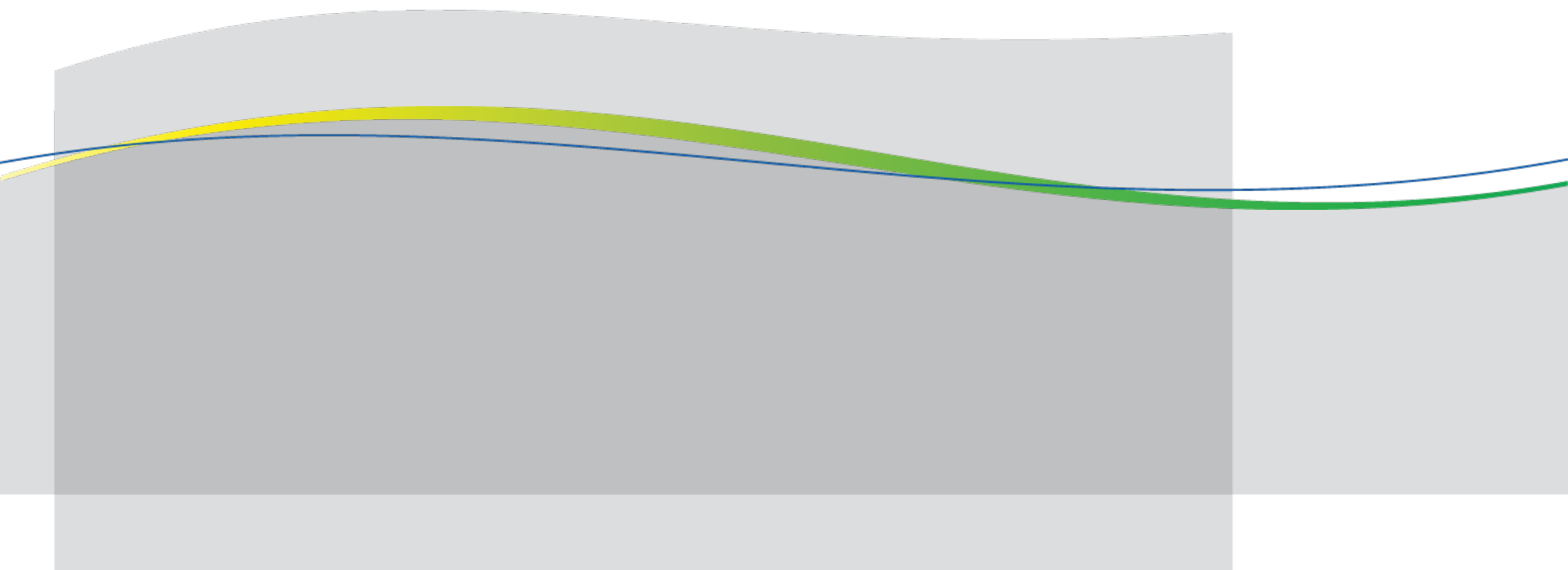
カンファレンスコール

2012年度 第1四半期決算（2012年4月1日～2012年6月30日）

説明者：専務執行役員 管理本部長 坂井 学

開催日時：2012年7月31日(火) 14:45～15:40

決算概況



2012年度 第1四半期 連結業績の概要

連結損益計算書 推移

	2011年度 1Q実績	2012年度 1Q実績	2012年度	
			予想	進捗
売上高	2,317	2,426	9,800	25%
売上原価	599	667	2,970	22%
販売費及び 一般管理費	1,283	1,434	5,830	25%
研究開発費	410	420	1,930	22%
その他販管費	873	1,014	3,900	26%
営業利益	435	325	1,000	33%
経常利益	448	408	1,000	41%
当期純利益	253	204	500	41%

為替 レート	USD/円	81.75	80.21	80.00
	EUR/円	117.40	102.91	100.00

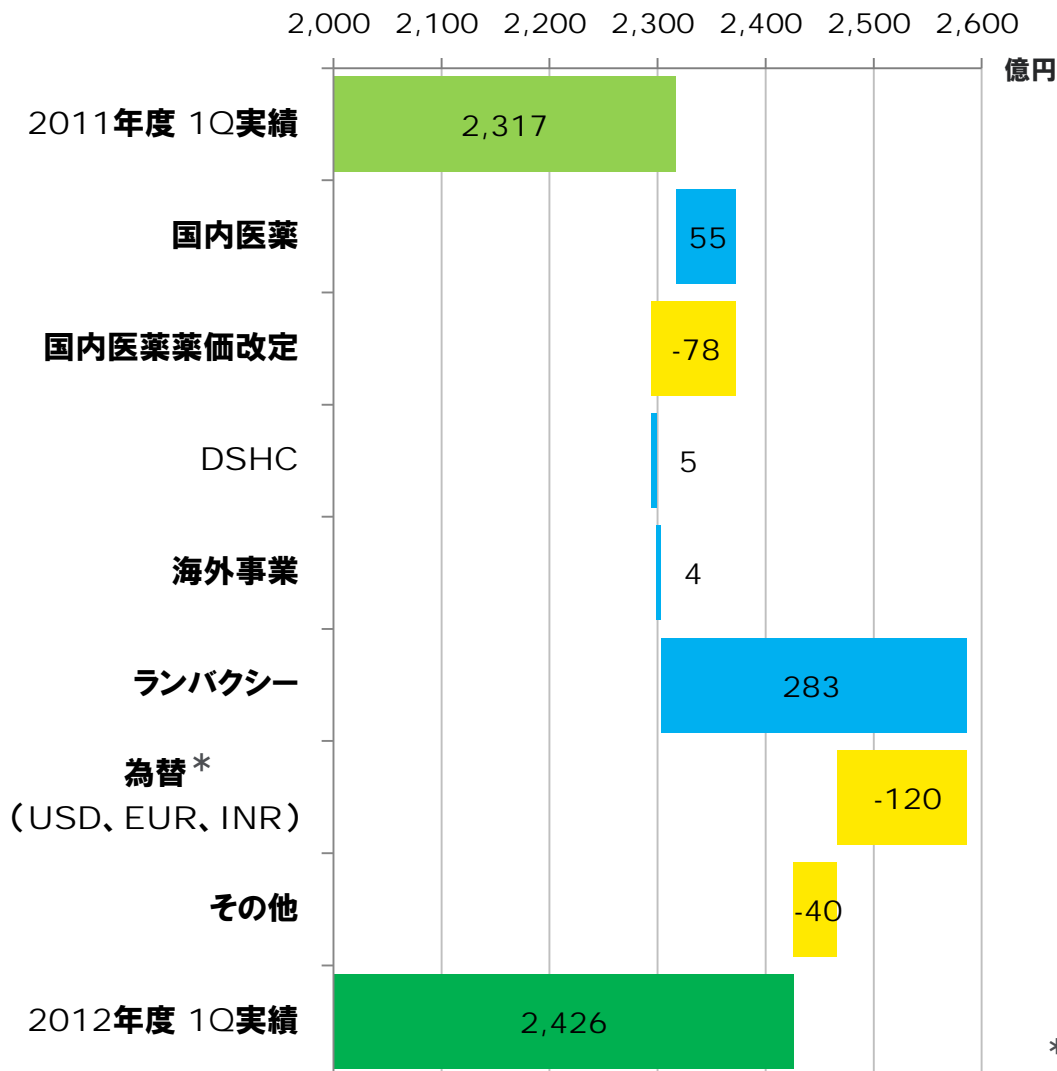
ランバクシーグループ ※

2011年度 1Q実績	2012年度 1Q実績	2012年度	
		予想	進捗
400	598	1,790	33%
188	195		
159	265		
23	20		
137	245		
53	138		
58	212		
69	150		

※ 連結調整前の数値

単位:億円

売上高 増減要因



国内医薬

- ・新製品: メマリール +29、ネキシウム +17、ランマーク +6
- ・既存品: オルメテック、レザルタス、カルブロック -15、メバロチン -23

※数字は薬価改定影響除外前

海外事業

- ・第一三共Inc. (DSI) +20
- ・ルイトポルド (LPI) -12
- ・第一三共ヨーロッパ (DSE) -10
- ・アジア/中南米 (ASCA) +6

ランバクシー (RLL)

- ・アトルバスタチンの寄与等

その他

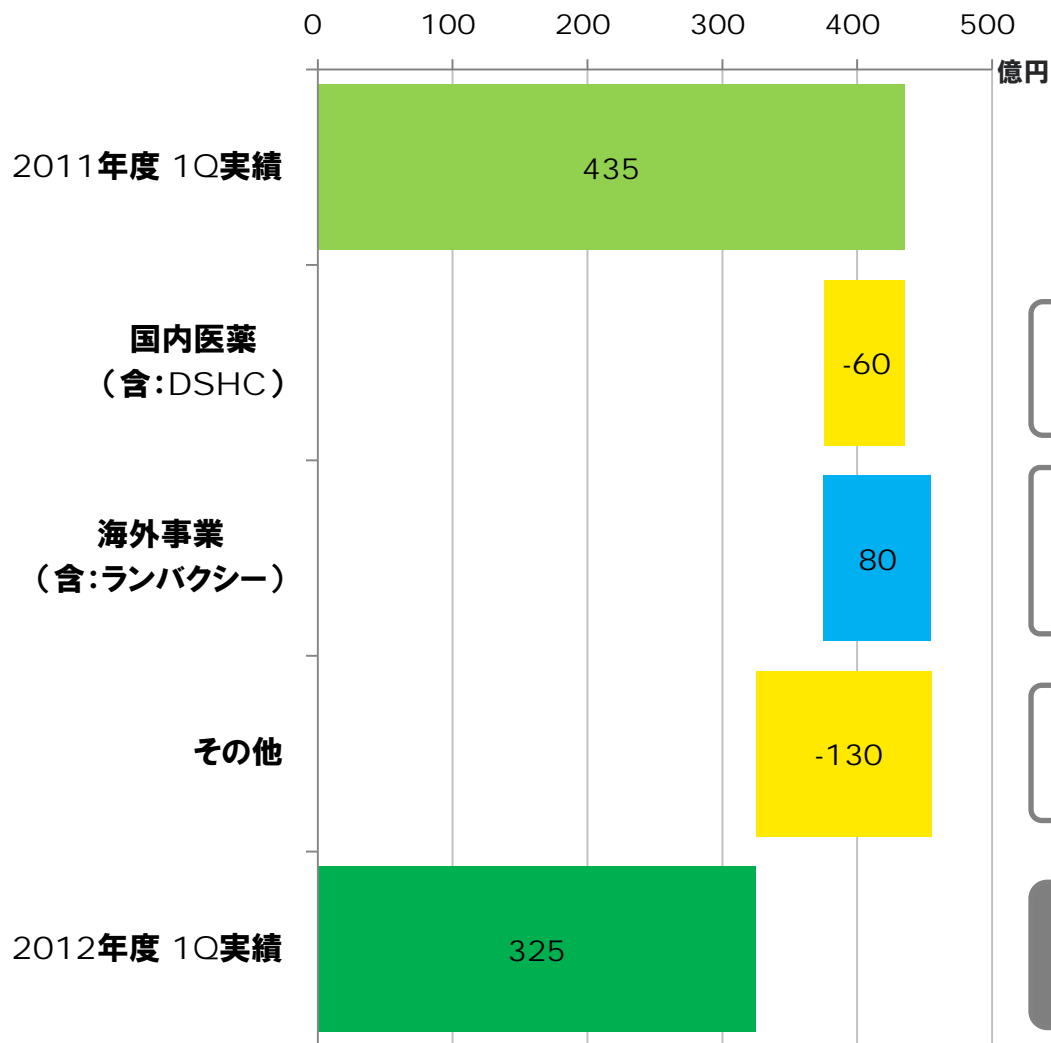
- ・レボフロキサシン輸出等減少 -19
- ・プレキシコン収入減 -29

*為替
レート

	2011年度 1Q実績	2012年度 1Q実績
USD/円	81.75	80.21
EUR/円	117.40	102.91
INR/円	1.83	1.59

2012年度 第1四半期 連結業績(実績) ー前年比ー

営業利益
増減要因



国内医薬

- ・新製品販促への入力、薬価改定による影響

海外事業

- ・増益要因: DSI
RLL アトルバスタチンの貢献
- ・減益要因: DSE、LPI

その他

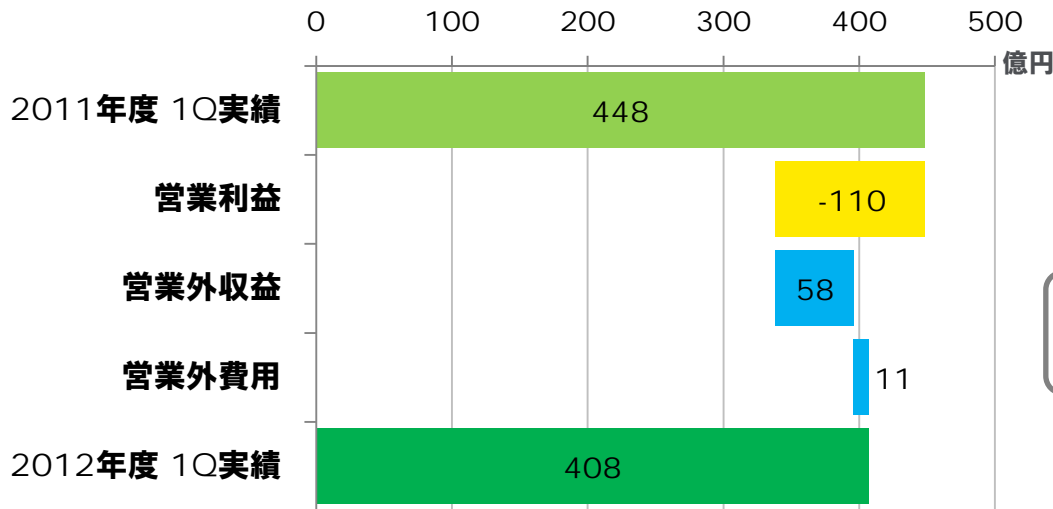
- ・研究開発費、その他販管費等の増
- ・レボフロキサシン輸出等減少
- ・プレキシコン収入減

〔再掲〕 為替の影響

USD、EUR及びINRの日本円に対する為替の影響で、営業利益で約25億円の減益影響がありました。

2012年度 第1四半期 連結業績(実績) ー前年比ー

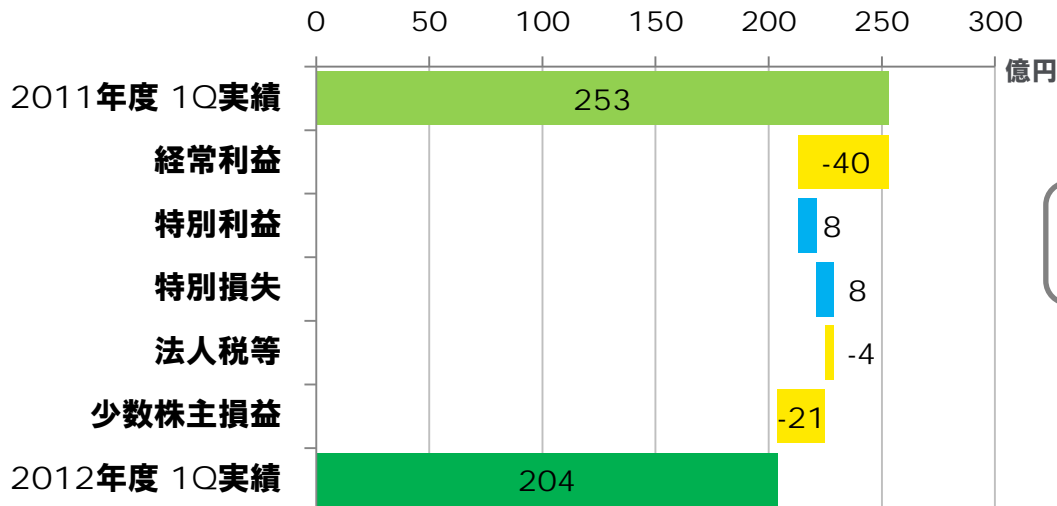
経常利益 増減要因



営業外損益:

・増益要因: RLLの為替差益、デリバティブ評価益

当期純利益 増減要因



特別損益:

・固定資産売却益、災害による損失(前期)

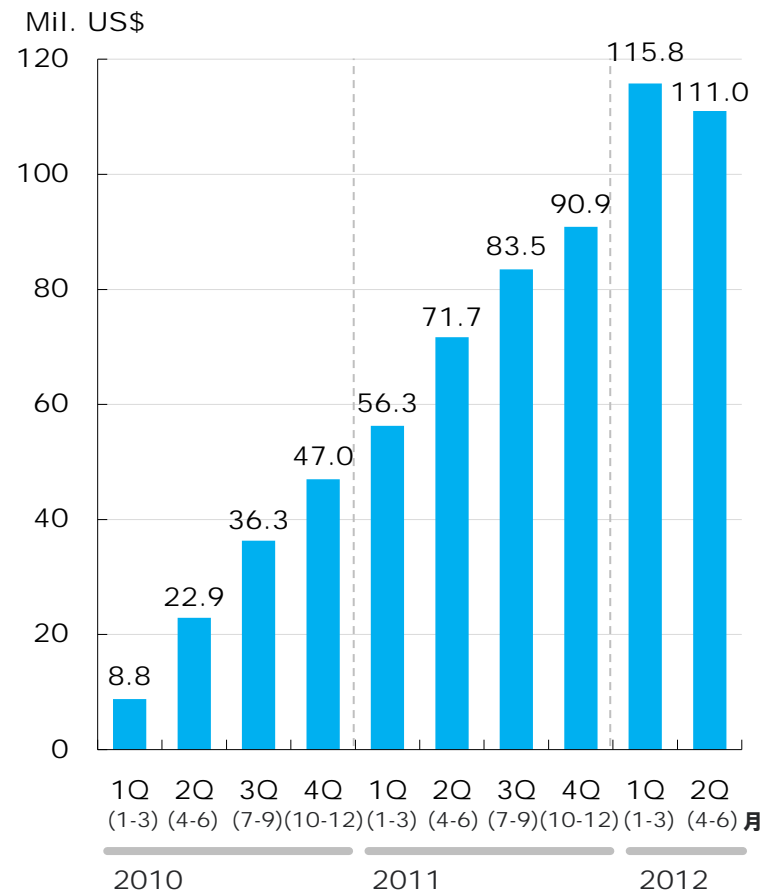
主要製品別 売上推移

単位:億円

		2011年度 1Q実績	2012年度 1Q実績	2012年度	
				計画	進捗
グローバル	オルメサルタン	633	600	2,370	25%
	プラスグレル (共同販促収入)	22	33	(非開示)	-
日本	ロキソニン	144	141	620	23%
	クラビット	84	81	370	22%
	ネキシウム	-	17	290	6%
	メマリー	22	51	260	20%
	メバロチン	88	65	260	25%
	アーティスト	61	56	210	27%
	オムニパーク	57	49	180	27%
	カルブロック	32	27	130	21%
	ユリーフ	26	27	110	24%
米国	ウェルコール	70	83	310	27%
	ヴェノファー	74	68	230	30%

為替 レート	USD/円	81.75	80.21	80.00
	EUR/円	117.40	102.91	100.00

プラスグレル グローバル売上



*イライリリーの発表ベース

主要開発パイプライン

領域	Phase 1	Phase 2	Phase 3	承認申請中
循環代謝	<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-3150 (高血圧症治療剤) ■ DS-7309 (糖尿病治療剤) ■ DS-7250 (糖尿病治療剤) ■ DS-6930 (糖尿病治療剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-747 (米) (プラスグレレル/鎌状赤血球/抗血小板剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ DU-176b (Global) (エドキサパン/AF/経口FXa阻害剤) ■ DU-176b (Global) (エドキサパン/VTE/経口FXa阻害剤) ■ CS-747 (Global*) (プラスグレレル/ACS-MM/抗血小板剤) ■ CS-747 (日) (プラスグレレル/PCI/抗血小板剤) ■ CS-747 (日) (プラスグレレル/脳梗塞/抗血小板剤) 	
癌	<ul style="list-style-type: none"> ■ U3-1565 (抗HB-EGF抗体) ■ DS-2248 (Hsp90阻害剤) ■ DS-7423 (PI3K/mTOR阻害剤) ■ ARQ 092 (AKT阻害剤) ■ DS-3078 (mTOR阻害剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ U3-1287 (抗HER3抗体) ■ CS-1008 (Tigatuzumab/抗DR5抗体) ■ CS-7017 (Efatutazone/PPARγ活性化剤) ■ DE-766 (ニモツズマブ/抗EGFR抗体) ■ PLX3397 (Fms/Kit/Flt3-ITD阻害剤) ■ PLX4032 (Vemurafenib/BRAF阻害剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ARQ 197 (Global*) (Tivantinib/非小細胞肺癌/c-Met 阻害剤) ■ AMG 162 (日) (デノスマブ/乳癌補助療法/抗RANKL抗体) 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-8958 (ラニナミビル/抗インフルエンザ/ビオタと導出活動中) ■ CS-4771 (敗血症治療剤) ■ DS-8587 (感染症治療剤) ■ PLX5622 (関節リウマチ治療剤) ■ CS-0777 (免疫抑制剤) ■ ASB17061 (アトピー性皮膚炎治療剤) ■ DS-7113 (麻薬性疼痛治療剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ AMG 162 (日) (デノスマブ/関節リウマチ/抗RANKL抗体) ■ DS-5565 (Global) (慢性疼痛/α2δリガンド) ■ SUN13834 (米) (アトピー性皮膚炎/キマーゼ阻害剤) ■ SUN13837 (米) (脊髄損傷治療剤/bFGF様細胞分化誘導剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-8958 (日) (ラニナミビル/抗インフルエンザ(予防)/ノイラミニダーゼ阻害剤) ■ DD-723-B (日) (ペルフルプタン/前立腺癌の造影/超音波造影剤) ■ DR-3355 (日) (レボフロキサシン水和物/感染症/ニューキノロン系抗菌剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ DD-723-B (日) (ペルフルプタン/乳腺腫瘍の造影/超音波造影剤) ■ AMG 162 (日) (デノスマブ/骨粗鬆症/抗RANKL抗体)

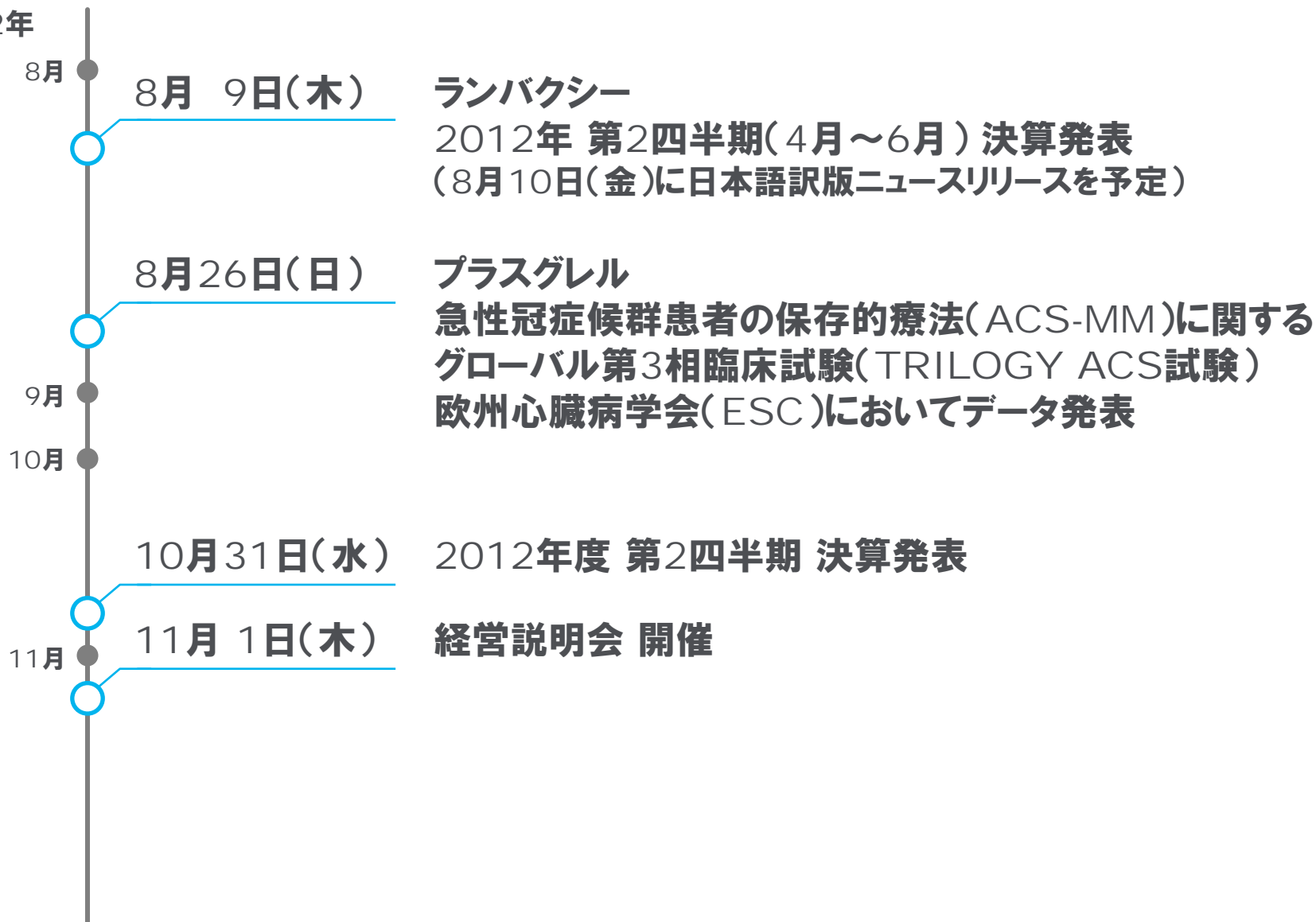
◆2012年5月(2011年度決算発表)以降の主な変更

- 新規追加 DR-3355 (レボフロキサシン水和物/感染症/ニューキノロン系抗菌剤/日/P3)、DS-6930 (糖尿病治療剤/P1)、ASB17061 (アトピー性皮膚炎治療剤/P1)、DS-7113 (麻薬性疼痛治療剤/P1)
- ステージの変更 SUN13837 (脊髄損傷治療剤/bFGF様細胞分化誘導剤/米/P2)
- 中止 SUN13834 (アトピー性皮膚炎/キマーゼ阻害剤/米/P2)

- 癌領域においては、最も進んだステージのみ記載しております。
- * 日本国内では実施していません。

今後の予定

2012年



本資料に関するお問い合わせ先

第一三共株式会社
コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-6225-1126 (報道関係者の皆様)

03-6225-1125 (株式市場関係者の皆様)

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。